

# 地域活性化委員会

委員長            秦        美郷  
副委員長        有川    朋邦

## 1) 基本方針

このまちは、都市の発展を図るための整備によって賑わいを取り戻しながら重要な変革の時期を迎えています。しかし、まちに住まう多くの人々は現在の生活に満足しており、まちの変化に興味を持てておらず未来への関心も薄れています。このまちの魅力は市内外に伝わりが足りておらず、まちへの帰属意識やまちを誇る気持ちが希薄化し、地域活力の維持や持続的な発展には、地域住民がまちに対しての活動意欲を向上する必要があります。

まずは、4 月度例会で地域住民がさまざまな魅力を知るために、まちにある魅力を見つめ直し、既存の魅力と新しい魅力を整理します。一人ひとりがその魅力を発信するために、伝達する方法や実践例を知ること、魅力を伝播させる意欲を高めます。地域住民がまちの魅力を市内外に広く伝えるために、参加者間で意見交換を行うことで、新たなアイデアが生まれるとともに人と人のつながりも生まれます。また、サルビア交付事業では、青少年が主体となってまちの魅力を発信するために、魅力ある体験をしてもらうことで、今後も魅力を伝える発信源となります。帰属意識やまちを誇る気持ちを持っていただくために、地域住民と交流しながらイベントに参加することで、まちと強いつながりを持ち、仲間づくりや楽しみの共有の場としても活用をしていただきます。また、10 月度例会では地域住民がまちに興味や関心を持つために、まちの魅力の発信源となる人々が集まった催しを企画し、新しい魅力を発見していただきます。まちが魅力で賑わうために、関係諸団体と協働することで、興味や関心を持った方が増加し、さらなる魅力の伝播につながります。

四日市青年会議所はまちに興味を持てる人とまちをつなぐ懸け橋となり、地域社会から信頼されるとともにより必要とされる組織になります。地域住民は活動意欲が高まり、一人ひとりが社会課題を自分事と捉え、このまちは持続可能な社会になると確信しています。

## 2) 事業計画

- |                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 4 月度例会                     | 4 月 17 日  |
| 2. 10 月度例会                    | 10 月 26 日 |
| 3. サルビア基金積立活動                 | 1 月～9 月   |
| 4. サルビア基金交付事業                 | 8 月 30 日  |
| 5. 対外事業窓口（海洋少年団、四日市港まつり実行委員会） |           |
| 6. 出向者への支援                    | 通年        |
| 7. 同好会への支援                    | 通年        |

## 3) 事業予算

347,000 円

## 4) 委員会開催予定日

毎月第 2 木曜日

第二回正副理事長予定者会議 2024 年 10 月 10 日(木)

36 意見 1:調査研究をしっかりと行って背景を見直してください。

37 対応 1:ヒアリングを再度行った上で調査研究も行い背景を見直しました。

38 意見 2:4 月度と 10 月度例会の区切りがわかりにくい

39 対応 2:L11 のさらに、からが 10 月度例会とわかるように表記しました。

40 意見 3:L1 と L2 の携わるはどう違うのでしょうか。

41 対応 3:住まう人と担い手や発信する人で使い分けをさせていただきました。

42 意見 4:L3 の青少年も地域に住まう方なのではないでしょうか。

43 対応 4:地域に住まう人ではあるが青少年事業を行う観点から強調させていただきました。

44 意見 5:仲間を増やすとあるが、まちに携わりたいと思う人を増やすことが先ではないでし  
45 ょうか。

46 対応 5:表現を修正しました。

47 意見 6:商店が入っている理由を教えてください。

48 対応 6:企業があるなかでも、商品を販売するお店ともより関係を深めたいと考え記載しま  
49 した。

50 意見 7:L7 と L9 魅力を知ってもらって、どうなってもらいたいのか教えてください。

51 対応 7:まちにこういう魅力もあれば、より携わりやすくなるのではないかを考えるように  
52 なっていただきたい。

53 意見 8:L11 は委員会とまちの方々が連携を強めるのでしょうか。

54 対応 8:表現を修正しました。

55 意見 9:L19 の地域活性化への契機とあるが、前文とどのようにつながってきますか。

56 対応 9:様々なつながりのある青年会議所が地域の発展を図るきっかけになっていくと考え  
57 ております。

58 意見 10:課題設定についてどこが問題なのでしょうか。

59 対応 10:携わる人が減ることで、まちの賑わいが薄れていくと考えております。

60 意見 11:どのような要因で賑わいが薄れているのでしょうか。

61 対応 11:まちに携わる人が減っていることです。

62 意見 12: 中心だったまちの定義を教えてください。

63 対応 12: 魅力的なものが集まっており、人通りも多く、日常的に賑やかなまちと考えてお  
64 ります。

65 意見 13:地域活性化委員会がなぜ事業で青少年に関する部分も行うのか考えられていらっ  
66 しゃいますでしょうか。

67 対応 13:サルビア基金の事務局を担当する委員会であり、サルビア基金が青少年の心身の  
68 健全育成、向上を図り、現在あるいは未来に向けての事業を行うものだと考えておりま  
69 す。

70 意見 14:まちに携わりたい仲間をつくるまでが重要なのか、賑わいまで創出することが重  
71 要なのかどっちのイメージですか。

72 対応 14:まずは仲間を増やすことが重要だと考え、その先に賑わいのあるまちが見えてく  
73 ると考えます。

74 意見 15:L6 と L14 をまとめ、文章を整理した方がわかりやすいと思います。

75 対応 15:文章を修正しました。

76 意見 16:L6 から L15 までで青少年に関する箇所がわかりにくいかと思います。

77 対応 16:まちの人々や地域の人々に含まれます。

78 意見 17:まちと青少年の関係を教えてください。

79 対応 17:まちが青少年を育み、青少年がまちの将来を担う関係と考えております。  
80 意見 18:地域活性化への契機の主語がわかりにくいので表現を一考されてはいかがでしょうか。  
81 うか。  
82 対応 18:四日市青年会議所がを主語として表記させていただいておりますが、表現を一考  
83 します。  
84 意見 19:まちが意欲的になるのでしょうか。  
85 対応 19:表現を修正しました。  
86 意見 20:委員長の苗字の頭は副委員長と合わせるべきではないでしょうか。  
87 対応 20:修正しました。  
88 意見 21:8 月事業の決算の上程スケジュールを 11 月 12 月に変更してはどうでしょうか。  
89 対応 21:上程スケジュールを 11 月と 12 月に修正しました。  
90 意見 22:サルビア基金の在り方、使い方を考えてください。  
91 対応 22:一考させていただきましたが、事業内容の変更は行っておりません。  
92 意見 23:文字を統一してください。  
93 対応 23:文字を修正しました。  
94

95 第二回理事予定者会議 2024 年 10 月 23 日 (木)

96 意見 1:有識者の部分を柔らかい表現のほうが良いのではないかな。  
97 対応 1:有識者をまちに携わりの深いまちに住まう人々、行政の方に変更しました。  
98 意見 2:次へとつながりますが何につながるのかが分かりにくいです。  
99 対応 2:次へのところを 10 月度例会につながりますに変更しました。  
100 意見 3:4 月度例会から 10 月度例会に出てもらうための工夫はありますか。  
101 対応 3:4 月度例会参加者の方々と打ち合わせなどで 10 月度例会までの間、何度かお会いし  
102 ます。  
103 意見 4:有識者に、を有識者からに伝えてのほうが良いのではないかな。  
104 対応 4:まちに携わりの深いまちに住まう人々や行政の方から、に訂正しました。  
105 意見 5:年間事業概要のサルビアの事業内容の中で、まちと強いつながりの文を見直してほ  
106 しい。  
107 対応 5:まちと強くつながりを持っていただきますに修正しました。  
108

109 第三回正副理事長予定者会議 2024 年 11 月 13 日 (火)

110 意見 1:中段の文字数が多いのではないのでしょうか。  
111 対応 1:文字数を見直し修正しました。  
112 意見 2:事業予算の記載方法が違うのではないのでしょうか。  
113 対応 2:他委員会の記載方法を参考にし修正しました。  
114 意見 3:サルビア基金の記載はサルビア委員会も絡んでいることから、記載は無い方がいい  
115 のではないか。  
116 対応 3:事業予算からサルビア基金を削除し、事業予算のみ記載しました。  
117 意見 4:L5 の文章が前文からのつながりがわかりにくい。  
118 対応 4:文章を修正しました。  
119 意見 5:なぜ情報が錯綜し分散されているのか考えてください。  
120 対応 5:文章を修正しました。  
121 意見 6:L2 の文章に接続詞を入れると読みやすくなる。

122 対応 6:文章を修正しました。

123 意見 7:情報という文字を魅力に変えてみてはどうでしょうか。

124 対応 7:情報と魅力を使い分け記載しました。

125 意見 8:周知と認知の違いを再度考えてみてください。

126 対応 8:文章を修正しました。

127 意見 9:一年間のヴィジョンを考えゴールを設定してください。

128 対応 9:地域を活性化させる人財を増やす。

129 意見 10:広報さえ出来ればいいのでしょうか。

130 対応 10:広報以外の文章も追加しました。

131 意見 11:L1 と L6 は不要ではないか。

132 対応 11:文章を見直し削除しました。

133 意見 12:手法を学ぼうになっているのではないのでしょうか。

134 対応 12:手法を学んで行動に移していただきます。

135 意見 13:サルビア基金を使ってまちの人をどう変えていくかも考えてください。

136 対応 13:まちに愛着を持っていただきます。

137 意見 14:L2 まちの人々が求める情報と L4 この時代に対応した情報に違いはありますか。

138 対応 14:文章を見直し削除しました。

139 意見 15:重鎮の意味を使うなら、そのような人ばかりが求められているのかをもう一度考

140 えてください。

141 対応 15:文言を見直し削除しました。

142 意見 16: L9 の SNS など魅力とありますが、基本方針内で具体例を出してしまうと手法を

143 かなり狭めることになるのではないのでしょうか。

144 対応 16: SNS という文言を見直し削除しました。

145 意見 17:L10 の 10 月度例会につながるとあるが、前文に 10 月度例会で何をするのかが記載

146 されているとわかりやすくなると思います。

147 対応 17:文章を見直し削除しました。

148 意見 18:10 月度例会が完遂しないと、4 月度例会としての目的が達成されないままの文章

149 になるので一考してください。

150 対応 18:4 月度例会と 10 月度例会を分けて記載しました。

151 意見 19:L6～L12 にかけて、その手法を用いた時にどのような姿になっているかを記載して

152 いただいた方が、より手法の必要性が見えてくると思います。

153 対応 19:記載を修正しました。

154 意見 20:L20 まちが変化するのでしょうか。また。変化を理解、強くなる手法が書かれてい

155 ないので、なぜ変化を理解し、強くならなければならないかが見えてきません。

156 対応 20:文章を見直ししました。

157 意見 21:まちの人々が求める情報とはどのようなことでしょうか。

158 対応 21:文言を見直し削除しました。

159 意見 22:L7 の文章構成を一考してください。

160 対応 22:文章を見直し修正しました。

161 意見 23:4 月度例会では発信の方法を理解してもらおうということでしょうか。アイデアが

162 生まれることが大切なのか、自主的に発信できる意識が重要なのか教えてください。

163 対応 23:自主的に発信ができる意識が重要だと考えます。

164 意見 24:10 月度例会で初めて関わる方はどのような学びをイメージされているか教えてく

165 ださい。

166 対応 24:まちを活性化させる仕組みを知れる。

167 意見 25:青少年事業が 4 月や 10 月とどのように関わるのか教えてください。

168 対応 25:まちづくりに対して積極的に参加できるようにします。

169 意見 26:委員長と副委員長の名前の頭を揃えてください。

170 対応 26:修正し名前を揃えました。

171

172 第三回理事予定者会議 2024 年 11 月 22 日(金)

173 意見 1:若い世代がまちづくりに対して、とありますが、若い世代とは具体的にど

174 れぐらいの年代を想定されていますか。

175 対応 1:若い世代を全世代に訂正しました。

176 意見 2:促しという言葉が他に比べ強い表現に感じますが、働きかけに変更することで、

177 柔らかい表現になりませんか。

178 対応 2:促しを働き方に訂正しました。

179 意見 3:伝播させる方法、発信方法とありますが、SNS 活用や地域の広報誌の活用といった

180 具体的な手段があれば、表現してあげることで、より具体的な成果をイメージしやすい

181 か。

182 対応 3: SNS 活用や地域の広報誌の活用の追記をしました。

183 意見 4:年間事業計画で様々な情報や魅力」という表現がやや曖昧で、例えば、「地域の歴

184 史や観光スポットの情報」など、ある程度の具体例があると結果につながるイメージが持

185 ちやすいです。

186 対応 4:地域の歴史や観光スポットの情報を追記しました。

187 意見 5:様々な方々とありますが、具体的にどのような層を指していますでしょうか。地

188 域住民、事業者、行政関係者など、ある程度絞り込みができていたほうが良いです。

189 対応 5:地域住民、事業者、行政関係者などを追記しました。

190 意見 6:背景に人口減少が記載されているのですが、手法の中で人口減少に関する記述は

191 どこにありますでしょうか。

192 対応 6:背景の課題が変わったため、背景と手法から人口減少を削除しました。

193 意見 7:L11-14 青少年が、様々な方々と出会う場として活用っていうのが、どういうふうに

194 活用できるかイメージがわからない。

195 対応 7:出会いの場を仲間づくり、楽しみの共有の場と訂正しました。

196

197 第四回正副理事長予定者会議 2024 年 11 月 29 日(金)

198 意見 1:L2~L5 までの間に。がないのでどこかで文章を区切ると見やすくなります。

199 対応 1:文章を修正させていただきました。

200 意見 2:L1~L5 の文章でどこが課題でしょうか。

201 対応 2:全世代がまちづくりに対して自分事捉え、積極的に参加することです。

202 意見 3:L1~L5 までと L6~L8 で文章がつながってないと思います。

203 対応 3:文章を修正させていただきました。

204 意見 4:L14 活性化を継続的には二重言葉になっているかと思います。

205 対応 4:文章を修正させていただきました。

206 意見 5:魅力ある催しとはどのような基準でしょうか。

207 対応 5:基準は設けてありませんが、その人にとって価値のあるイベントと考えておりま

208 す。

209 意見 6:L3 とりは手法ではないでしょうか。

210 対応 6:文章を修正させていただきました。

211 意見 7:L4 運びたくなるようには目的ではないでしょうか。

212 対応 7:文章を修正させていただきました。

213 意見 8:市外からの人をもっと呼ぶことが重要でしょうか。それとも仲間づくりができてな

214 いのが課題でしょうか。

215 対応 8:つながりを持つことが課題と考えております。

216 意見 9:働きかけることと、交流の場を作る必要があるのは何故でしょうか。

217 対応 9:全世代がまちづくりに対して自分事と捉え、積極的に参加していただくためです。

218 意見 10:L6 出来るをひらがなで表記してください。

219 対応 10:修正させていただきました。

220 意見 11:L8～L9 の文章の構成を考えてください。

221 対応 11:文章を修正させていただきました。

222 意見 12:L13 と L14 のもが不自然なので修正してください。

223 対応 12:修正させていただきました。

224 意見 13:地域の活力とは何ですか。

225 対応 13:経済、社会、文化などの活気を指しております。

226 意見 14:地域の活力の維持においてのが続くのは文章としていかがでしょうか。

227 対応 14:地域活力の維持に修正させていただきました。

228 意見 15:L2 のしかしから L3 薄れています。までの文章がおかしくないでしょうか。

229 対応 15:文章を修正させていただきました。

230 意見 16:2 行目、しかし～後の文の課題はどこから参考にされましたでしょうか。

231 対応 16:市政アンケートと四日市市総合計画のデータを基に行政にヒアリングを行いました。

232 た。